

童話「白雪姫」の後日談を描く注目の舞台、8月5日(土)よりチケット一般発売開始！

ACM ファミリーシアター

『リトルセブンの冒険 ～白雪姫去りし後の“こびとたち”の物語～』

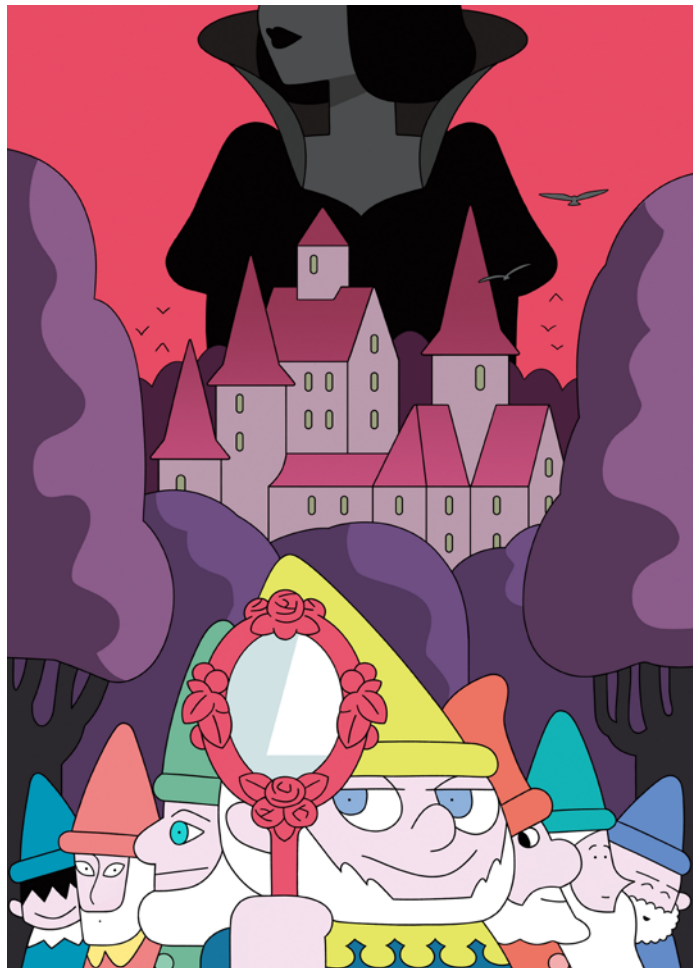
公演詳細・チケット発売のお知らせ

誰もが知っている童話「白雪姫」の後日談を描いた舞台「リトルセブンの冒険」。
舞台エンタテインメント界で人気の劇団☆新感線がファミリー向けに上演した幻の作品を、
約24年の年月を経て、水戸芸術館 ACM 劇場にて上演いたします。

白雪姫が去ったあとの“七人のこびと”のハラハラドキドキの冒険活劇を描くのは、個性豊かなキャスト陣と、注目の若手演出家・劇作家の中屋敷 法仁。

中屋敷氏は自身の劇団で“こどもと観る演劇プロジェクト”の活動や、アニメ作品の舞台化などの実績を有しており、子ども達が楽しめる舞台作品に期待できます。

初演からさらにパワーアップし、ご家族と一緒に楽しみいただけるこの冬注目の舞台を、ぜひ貴媒体にてご紹介くださいますようお願い申し上げます。



イラスト：タケウマ

あらすじ

白雪姫（スノーホワイト）が王子さまと一緒に
お城に去った後、森に残された七人のこび
とたちは、目的を失い、一人、また一人と森
を出て行きました。最後に残った一人のもと
に「私を助けて！」と飛び込んできたのは、
白雪姫とは似ても似つかぬ性格の悪いお姫さ
ま（レッドローズ）。リトルリトル族の七人の
勇者たちの話を聞き、助けを求めてやってき
たのです。やがて魔力を持った鏡をめぐり、
姫を追うマジシャンド城の人々との戦いが始
まります。バラバラになってしまった仲間たち
との友情の再生はなるのでしょうか？ そして、
レッドローズのほんとうの正体とは？

■公演概要

名称 A C Mファミリーシアター「リトルセブンの冒険 ～白雪姫去りし後の“こびとたち”の物語～」

日時 ●A C Mファミリーシアター（一般有料公演／全6回）

11月4日（土）14時開演

5日（日）11時・15時開演

11日（土）11時・15時開演

12日（日）11時開演

●小学生のための演劇鑑賞会（水戸市立小学校4年生を対象とした招待公演／全12回／詳細別紙）

11月7日（火）～9日（木）、14日（火）～16日（木）

●館外公演

11月25日（土） 会場：取手市立市民会館（主催：公益財団法人取手市文化事業団）

*上演時間：75分（予定）

会場 水戸芸術館 ACM 劇場

チケット 大人 3,000 円、子ども（小学6年生以下） 1,500 円

お得な親子チケット 親子チケット A：大人1名＋子ども1名（計2名様）＝4,200 円

親子チケット B：大人1名＋子ども2名（計3名様）＝5,400 円

* 8月5日（土）より一般発売

取扱い 水戸芸術館（9:30～18:00／月曜休館） [電話] チケット予約センター Tel.029-225-3555

[WEB] <https://www.arttowermito.or.jp/ticket/>

[窓口] エントランスホール内チケットカウンター

制作 水戸芸術館 A C M劇場

助成 文化庁

主催 公益財団法人水戸市芸術振興財団 水戸市／水戸市教育委員会

出演 七味まゆ味、加藤ひろたか、齋藤明里、蓮井佑麻、佐々木穂高、田中 廉（以上劇団柿喰う客）／
エリザベス・マリー、川崎賢一／大内真智、小林祐介、塩谷 亮（以上劇団 ACM）

スタッフ 作：中島かずき 脚色・演出：中屋敷法仁

美術：古謝里沙 照明：南 香織 音響：山本能久 衣裳：摩耶 振付：エリザベス・マリー

舞台監督：下重卓哉

<キャスト／登場キャラクター>

**<リトルリトル族>**

**<マジシャンド城の人々>**

Cast/登場キャラクター

VS



正直者のフライ
田中 廉



臆病者のマン
佐々木穂高



ひねくれ者のサン
蓮井佑麻



腕利き者のチューズ
足利き者のウエズ



レッドローズ
齋藤明里



ミラード公爵
加藤ひろたか



グラッシー伯爵
塩谷 亮



リフレク男爵
川崎賢一



クリスタニア女王
七味まゆ味



道化師コンバクト
エリザベス・マリー



お調子者のサース
小林祐介



働き者のサタ
大内真智

プロフィール

●中屋敷法仁（なかやしき・のりひと） 演出家・劇作家・「柿喰う客」代表

2006 年劇団「柿喰う客」旗揚げに参加。独特の感性と高い演劇教養を武器に、多彩なジャンルの舞台作品を創作する。高校在学中に発表した『鷹作マクベス』にて全国高等学校演劇大会・創作脚本賞を受賞。桜美林大学文学部総合文化学科演劇コース卒業。近年の主な作品に『ワールドトリガー the Stage』大規模侵略編（脚本・演出）、サンリオピューロランドショー『Nakayoku Connect』（演出）、舞台『文豪ストレイドックス STORM BRINGER』（脚本・演出）など。



●劇団「柿喰う客」（かきくうきゃく）

演劇特有の虚構性を重視した躍動感あふれるパフォーマンスが特長。〈圧倒的なフィクション〉を標榜したオリジナル作品の創作を続ける。また古典作品のアダプテーションや他ジャンルのアーティストとのコラボレーションも実施。国内の様々な地域でのアーティスト・イン・レジデンス（滞在製作）にも定期的に取り組む。さらに“こどもと観る演劇プロジェクト”や“高校生のための演劇プロジェクト”など、幅広い観客層への作品上演も積極的に展開。その活動のスケールは広がり続けている。

“こどもと観る演劇プロジェクト”：『ながぐつをはいたねこ』（原作シャルル・ペロー）『へんてこレストラン』（原作宮沢賢治「注文の多い料理店」）『にんぎょひめ』（原作アンデルセン）など

●劇団 A C M (Acting Company Mito)

水戸芸術館の開館と同時に設立された専属劇団。ACM 劇場での舞台出演に加え、各種教育プログラムを担当。現在の団員は水戸に常駐する 4 人の俳優から成り、市民とともに歩む地域に根差した活動で、舞台芸術の振興に力を注いでいる。プロデュース公演への出演のほかに、年間を通して、未就学児への絵本の読み聞かせや親子で劇場体験してもらう絵本の舞台化シリーズ、ファミリーシアター公演や「小学生のための演劇鑑賞会」を実施している。子どもから高齢者まで幅広い年齢層を対象としたワークショップなど、演劇鑑賞のすそ野を広げる活動にも取り組んでいる。

●水戸芸術館演劇部門の教育普及事業 「小学生のための演劇鑑賞会」

2002 年より水戸市立小学校 33 校を対象に、体育館内に舞台を設営し、訪問公演のかたちで演劇を紹介することからスタート。2013 年からは、水戸市立小学校 4 年生全児童約 2,400 名を対象に、訪問形式から水戸芸術館 ACM 劇場での観劇に切り替え、「小学生のための演劇鑑賞会」として毎年秋に公演を行なっている。

演劇専門の劇場で観劇体験をしていただくことで、より深い作品の理解を促し、楽しく観劇マナーを学ぶこと、児童が舞台芸術に触れることで豊かな想像力・創造力を育むことを目的として実施している。

また、教育と演劇との関わり方の一つのモデルとなり、公共劇場としての役割を果たす事業を目指している。



2022 年「スーホの白い馬」
鑑賞公演より

■お問合せ

企画について：水戸芸術館 演劇部門
ご掲載について：〃 広報係

岡本、菊池
中山

Tel.029-227-8123

Tel.029-227-8111

E-mail : kouhou@arttowermito.or.jp